

正誤表

島村隆太のSPI3の点数が面白いほどとれる本 2021 年度版

このたびは、本書の記述につき、下記のとおり修正がございました。お詫びとともに、訂正させていただきます。

(2019年10月31日現在)

訂正箇所	誤	正
P.23 上から5行目	A には「パスカル」	B には「パスカル」
P.68 「例題 (2)」の解説部分	2 ^{おくそこ} 深奥	2 ^{しんおう} 深奥
P.71 「例題」	(1) 表現、行動等がいろいろなことを暗示していること先生の意見は、いつも () に富んでいる。	※問題文の下線が抜けていました (1) <u>表現、行動等がいろいろなことを暗示していること</u> 先生の意見は、いつも () に富んでいる。
	(2) 聞く価値があること	※問題文の下線が抜けていました (2) <u>聞く価値があること</u>
P.72 「例題」	(3) 立派なこと	※問題文の下線が抜けていました (3) <u>立派なこと</u>
	(4) 将来の事柄について見通す力や見識の力量などがあること	※問題文の下線が抜けていました (4) <u>将来の事柄について見通す力や見識の力量などがあること</u>

P.72 「例題」		(5) 気にかかって不安に思うこと	※問題文の下線が抜けていました (5) <u>気にかかって不安に思うこと</u>
		(6) すっかり終わること	※問題文の下線が抜けていました (6) <u>すっかり終わること</u>
P.73 「例題」		(7) 混乱した状態をうまく収めること	※問題文の下線が抜けていました (7) <u>混乱した状態をうまく収めること</u>
		(8) 物事の影響が次第に広がり伝わること	※問題文の下線が抜けていました (8) <u>物事の影響が次第に広がり伝わること</u>
P.80 「例題 (1)」 上から4行目		81gだったとすると、5gのおもりは	81gだったとすると、7gのおもりは
P.81 「例題 (1)」 上から4行目		81g だったとすると、5gのおもりは	81g だったとすると、7gのおもりは
P.84 「(1)」 上から4行目		81g だったとすると、5gのおもりは	81g だったとすると、7gのおもりは
P.87	下から9行目	残りの数字が 1,4,12,15 なので不可能	残りの数字が 1,4,9,12,15 なので不可能
	下から4行目～末尾	Aを9とするとLが4。すると $E+6+7+4=34$ なので $E=17$ となってしまい成立しません。 こうして $A=4, B=6$ となり、問われている A、B のカードの数字の和は①10 ということになります。	Aを1とするとLが12。すると $E+6+7+12=34$ なので $E=9$ になり $I=4$ となります。 こうして $A=4, B=6$ または、 $A=1, B=6$ となり、問われている A、B のカードの数字の和で 選択肢にあるのは①10 ということになります。
P.91 下から3行目		つまり、平均時速は $3x\text{km} \div x/2 \text{時間} = 3x \times x/2 = 6\text{km/時}$ となります。	つまり、平均時速は $3x\text{km} \div x/2 \text{時間} = 3x \times 2/x = 6\text{km/時}$ となります。

P.94 上から 7 行目		(男子の人数×男子の平均点) + (女子の人数×女子の平均点) ÷クラス全員の人数	{ (男子の人数×男子の平均点) + (女子の人数×女子の平均点) } ÷クラス全員の人数
P.100上から 1～2 行目		これでC社で「バス」と回答した人は、C社の20% ($100 \times 0.2 = 20$ 人) と分かります。	これでC社で「バス」と回答した人は、C社の20% ($100 - 30 - 10 - 40$) と分かります。よって、C社で「バス」と回答した人は、 350 (人) $\times 20$ (%) = 350 (人) $\times 0.2 = 70$ (人) です。
P.104 下から 8 行目		ので、「電車と電車以外の両方を使う人」は	ので、「電車と電車以外の両方を使う女性」は
P.110 上から 15 行目		以上で最初に 100 円玉が 17 枚あったことが分かり、1700 円持っていることになります。	以上で最初に 100 円玉が $x^2 + 15$ 枚 = $17 \times 17 + 15$ 枚 = 304 枚あったことが分かり、30400 円持っていることになります。
P.114	表中	清掃 (2 人)	清掃 (3 人)
	下から 6 行目	選ぶ選び方で、AB・AC・AD・DC・BD・CD の 6 通り。	選ぶ選び方で、AB・AC・AD・BC・BD・CD の 6 通り。
P.117	「例題」 1 行目	(3 - 1) 社員 50 人にテニスとサッカーの	(3 - 1) 社員 55 人にテニスとサッカーの
	下から 10 行目	となり、①～④の合計が 50 人となります。	となり、①～④の合計が 55 人となります。
P.118 上から 4～5 行目		となり①～④の合計が 50 人ですから、④両方ともない、は $50 - (9 + 19 + 7) = 55 - 35 = 20$ 人	となり①～④の合計が 55 人ですから、④両方ともない、は $55 - (9 + 19 + 7) = 55 - 35 = 20$ 人
P.124 上から 13 行目		最大値となるので、正解は 10 人です。	最小値となるので、正解は 10 人です。
P.125		解説図の中の楕円の内径「12cm」の表示位置。	別途添付の「訂正誌面」をご確認ください。

P.141	上の表中、一番左下の欄	太郎のリード	花子のリード
	上から1行目	3回目で太郎が勝ったあと太郎は4マスしかリードしていないので、	3回目で太郎が勝ったあと花子は4マスしかリードしていないので、
	下の表中、右から2番目・上から3番目の欄の中の数字	5	11
	下の表中、一番左下の欄	太郎のリード	花子のリード
P.146 上から3番目の図			図①の表記を追加
P.152	「例題」	(2)【図1】の展開図を組み立てて立方体を作り、【図2】のマス目をなぞるように、一面ずつ転がしていく。Xのマス目にとまったときに、	(2)【図1】の展開図を組み立てて立方体を作り、【図2】のマス目をなぞるように、Xのマス目からYのマス目まで一面ずつ転がしていく。Yのマス目にとまったときに、
	「例題」の【図2】		別途添付の「訂正誌面」をご確認ください。
P.158 「例題」問題文の中の図形			別途添付の「訂正誌面」をご確認ください。
P.168 下から3行目		すので、もしDかうであることが分らないとすると	すので、もしDがウであることが分らないとすると